授業科目	ビジネスファイナンス					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	池口　功晃						
授業概要	ビジネスでは会計数値（例えば、利益がどれくらい出ているのか、あるいは、赤字がどれくらい出ているのか）を把握することが大切である。本授業では、企業財務（ファイナンス）の諸事項を扱う。具体的には企業の資金調達・運用の手法、企業の業績結果および業態を示す決算書の分析（財務分析）など実践的な基礎知識を学ぶ。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．企業の決算書を読み分析することができ、その企業の業績・業態の良し悪しを説明できる。 2．各業界の財務諸表を比較分析し、経営状況を自ら説明することができる。 企業財務に関する基本的な知識を一通り身に付けることができる。
理想的レベル	1．企業財務、決算書に関する基本的な知識をよく理解している。 2．財務分析の手法と考え方を現実の企業に当てはめて説明することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	50%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	T031304J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習	4

授業計画	
第 1 回	授業ガイダンス 決算書とは何か
第 2 回	貸借対照表①（有形固定資産・無形固定資産）
第 3 回	貸借対照表②（投資その他の資産・負債）
第 4 回	貸借対照表③（資本会計）
第 5 回	損益計算書①（収益の認識と測定）
第 6 回	損益計算書②（費用の認識と測定）
第 7 回	損益計算書③（利益の認識と測定）

第 8 回	キャッシュフロー計算書①（営業 CF）
第 9 回	キャッシュフロー計算書②（投資 CF）
第 10 回	キャッシュフロー計算書③（財務 CF）
第 11 回	事例研究①（旅行会社の財務分析）
第 12 回	事例研究②（航空会社の財務分析）
第 13 回	事例研究③（ホテルの財務分析）
第 14 回	事例研究④（テーマパークの財務分析）
第 15 回	総まとめと試験
テキスト	矢島雅巳『決算書はここだけ読もう　2024 年版』弘文堂
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	太田康弘（2018）『ビジネススクールで教える経営分析』　日本経済新聞社
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点後、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	簿記の知識を一部必要としますが、随時基礎的な内容については確認していきます。 将来、金融業界（銀行、証券、保険等）への就職を考えている学生は履修をお勧めします。